

競技注意事項

1. 競技方法 2020年日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項による。
2. アスリートビブス 個人アスリートビブス（ナンバーカード）（男女赤字）を胸背部につける。ただし、跳躍競技は胸背いずれかでよい。トラック競技に出場する選手（リレーの1～3走者を除く）は全員腰ナンバー（大会本部で用意する）を右腰後方に付ける。
3. 招集
 - トラック競技は20分前、走高跳・走幅跳・砲丸投は40分前、棒高跳は100分前を招集時刻とする。混成競技のフィールド種目は30分前とする。
 - 競技者は招集時刻の10分前までに競技開始場所に集合し、点呼を受ける。
 - 競技場に入場できる時刻は招集時刻の20分前からとする。
 - 招集時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
 - 招集所は設けず、競技開始場所で現地招集とする。
4. 練習場 ウォームアップ場は補助競技場のみとする。（ウォームアップ場使用上の注意 参照）
5. 使用器具 器具は本部で用意したものを使用すること。ただし、棒高跳のポールは各自のものを使用すること。
6. 競技順 予選はプログラム掲載順とし、決勝のレーン順は抽選による。
7. オーダー用紙 リレーに出場するチームは、予選については、事前に配布されたオーダー用紙（男子：水、女子：ピンク）に記入し、8:30までに総合案内に提出すること。決勝については、オーダー用紙を総合案内で受け取り、8:30までに総合案内に提出すること。その後の選手変更については、招集完了1時間前までに総合案内を通して審判長へ申し出ること。
8. トラック競技
 - 不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。ただし、男女四種競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートをした競技者は、すべて失格とする。
 - 100m、110mH、100mHのみ予選・決勝を行い、その他のトラック種目はタイムレース決勝とする。予選から決勝へと進む場合、1レース8名で行う。ただし、同記録で1レース8名を超えた場合は、0.001秒まで着差判定を行い進出者を決める。それでも決められない時は抽選とする。なお、該当者は、通告後5分以内本部席前に集合しない場合は失格とする。
 - リレーは男女とも予選タイムの上位8チームによって決勝を行う。
 - 短距離では、事故防止のためフィニッシュライン到着後、自分に割り当てられたレン（曲走路）を走ること。

9. フィールド競技
- 予選は行わず決勝とする。
 - 走幅跳男女1組はメインスタンド側、2組はバックスタンド側のピットで行う。
 - 走幅跳、砲丸投は、トップ8による3回の試技を追加して行う。
10. バーの上げ方
- | | | | | | | | | | |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------------|
| 男子走高跳決勝 | 150 | 155 | 160 | 165 | 170 | 175 | 178 | 180 | 以後 2cm |
| 男子四種走高跳 | 135 | 140 | 145 | 150 | 155 | 160 | 163 | 166 | 以後 3cm |
| 男子棒高跳決勝 | 260 | 280 | 300 | 320 | 340 | 360 | 380 | 390 | 400 以後 5 cm |
| 女子走高跳決勝 | 130 | 135 | 140 | 145 | 150 | 155 | 157 | 157 | 以後 2cm |
| 女子四種走高跳 | 115 | 120 | 125 | 130 | 135 | 140 | 143 | 146 | 以後 3cm |
- (当日変更する場合もある)
11. スパイク
- トラック種目・走幅跳・棒高跳は9mm以下、走高跳12mm以下とする。
12. 表彰
- 各種目の1～3位に賞状とメダル、4～8位に賞状を授与する。
 - 表彰は行わない。
13. その他
- 本大会の男女リレーで1位の学校は、ジュニアオリンピックカップへの出場権を得る。
 - 当日の選手変更は一切認めない。
 - 当日審判員のいない学校は、選手の出場を停止する。
 - 競技する選手以外は、トラック・フィールド内に立ち入ることはできない。
 - 空き缶・ゴミ等は各校・各自で責任をもって処理する。
 - 応援横幕はスタンド上段に、のぼりはメインスタンド最上段に設置すること。ただし、南側サイドスタンド（保護者観覧席）への設置は禁止とする。
 - テントはメインスタンド、バックスタンドとともに上段に設置すること。サイドスタンドは、通路より上に設置すること。
 - ウォームアップ場には、設置してある用器具以外、持ち込まないこと。
 - 飛沫感染防止のため、声を出しての応援は行わない。
 - 中学生は、原則として競技場内で携帯電話を使用しないこと。
 - トランシーバーを使用する場合には、本部で使用する7・8・9・10・11チャンネルの使用を禁止する。
 - 熱中症予防のため、選手は適宜水分補給を行うなどの体調管理に気を付けること。
なお、競技前に具合の悪くなった生徒は、近くの審判員に声をかけ、指示を仰ぐこと。
 - 待機する生徒についてもこまめに水分を取り、日陰に入るなどして適宜休憩をとること。
なお、具合の悪くなった生徒は、近くの審判員に声をかけ、指示を仰ぐこと。